



有明高専だより

第118号
2004.6



卒業式にて



球技大会の優勝チーム

2004 5 28

目次

校長だより	2
新3主事抱負を語る	2~3
新任教職員紹介	4~5
退職教員より	6
ようこそ有明高専へ	7
研修旅行記	8~9
新入生阿蘇オリエンテーション	10
専攻科のページ	11

新入生歓迎行事	12
キャンパスクリーン作業	12
春季球技大会	12
岱明寮だより	13
卒業式・修了式／入学式	14
卒業生・修了生の進路	15
学生表彰／検定試験合格者	15
トピックス（大蛇山）	16
編集後記	16

※本文中において、学生氏名の前にある英数字等は、所属クラスを表します。

数字は学年、英字は学科（M：機械工学科、E：電気工学科、I：電子情報工学科、C：物質工学科、A：建築学科、専：専攻科）です。

校長だより

■高専のある街には ロボットが居る



校長 尾崎 龍夫

4月28日に、JR大牟田駅で本校が製作した「ロボ大蛇」の除幕式が挙行された。それまでの経緯を紹介する。

私が本校に着任したばかりの一昨年の4月、重村同窓会会長から「大牟田のシンボルである大蛇山のロボットを有明高専が作って、JR大牟田駅に展示するというのが、私たち卒業生の永年の夢なのです。高専の存在をアピールするためにも、高専のある街にはロボットが居るということが実現できないでしょうか。」という趣旨のお話を伺った。私もそれは素晴らしいアイデアだと思ったが、経費を含め数々の課題があり、私の在任中に実現するとお約束する自信をそのときはもてなかった。

その年の11月、栗原大牟田市長、永利大牟田商工会議所会頭と懇談した折りに、この話をご披露したところ、お二人は、「有明高専の技術力の高さと地元の大蛇山祭を同時にアピールできますね。」と賛意を表された。そこで早速、本校の企画運営委員会のメンバーや同窓会の同意を得、12月にはJR大牟田駅長から展示をご快諾いただき、関係諸団体の会長にも協力をお願いした。その後、市役所経済部、商工会議所事務局、本校地域共同テクノセンターの皆さん方に変なお骨折りいただいたお陰で、2回の準備会を経て、昨年4月25日に、商工会議所、観光協会、経済倶楽部、有明広域産業技術振興会、有明高専、有明高専同窓会で構成する「有明高専ロボット大蛇山プロジェクト支援協議会」が発足した。

4月以降、関係者のご尽力により、支援団体、関係団体、協賛企業、個人から多額の募金をいただき、また、本校では「大蛇山ロボット製作プロジェクト委員会」を設置して、祇園六山振興会の助言を得て、ロボットの設計、製作に取り組んだ。川崎委員長はじめ委員、技術職員の皆さんが、全学挙げて協力し、多忙な業務の合間をぬって約一年がかりで完成してくれた。また、地元学童や本校教職員、学生の願いを込めたお札貼りや塗装仕上げなど学生諸君にも協力していただいた。

このプロジェクトが成功したのは、本校がこれまで取り組んできた地域連携が地域に認められたということであろう。ご支援、ご協力いただいた多くの方々に限りない感謝の意を表するとともに、有明高専は地域振興に今後とも一層の努力を重ねることを表明し、あわせて「高専のある街にはロボットが居る」が全国高専に広がることを願っている。

新3主事抱負を語る



deep thinker

教務主事 氷室 昭三

Q1:教務主事室はどんな仕事をしているのですか？

A1:大きな仕事の一つは教務に関した業務ですが、教育課程に関する事で、シラバスの作成作業、前・後期時間割の編成作業、定期試験、課題試験時間割および監督割りの編成作業、成績処理に関する事、学習支援に関する事、学生の実態調査、授業改善に関する事項の検討・実施などがあります。もう一つは入学者選抜に関連した業務ですが、推薦と学力選抜募集の内容検討、募集要項作成、パンフレット・ポスター作成、PRビデオ作成、推薦入学、学力試験の実施に関する事などです。さらに、広報に関連した業務があります。学校全体の広報活動に関する事、“有明高専だより”の発行業務、有明高専ホームページの管理運営などです。その他にも留学生の支援活動、研修旅行に関する事、インターンシップ実施に関する事、皆勤表彰に関する事、清掃指導に関する事、キャンパススクリーン作業実施に関する事、防火避難訓練に関する事などがあります。

Q2:新主事として取り組みたいことはどんなことですか？

A2:学生諸君は、いつも勉強をさせられるという受動的な立場で学習してきていると思いますが、これを能動的なものにしたいと思っています。具体的に取り組みたいことは、学生諸君の「自立心を養うこと」「授業中の私語や居眠りをなくすこと」「知的好奇心や想像力を高めること」「読書習慣をつけ、思考力を高めること」「試験前の暗記型勉強をなくし、“なぜか”をじっくり考えさせること」「自分の意見、意思、感情を文章や口頭で相手に伝え、また相手の意見、意思、感情を汲み取る能力を高めること」などです。今年度はJABEEの審査を受けることになっていますが、これらの取り組みが実現すれば、簡単に合格することだと思います。

Q3:学生にぜひ言っておきたいことを語ってください。

A3:4月の全校集会でも話したのですが、三つのキーワードをいつも心に留めて授業を受けてください。一つは授業に感動してほしいということです。この現象はこんなふうに説明されているのか、といった感動が授業の中に発見できると思います。二つ目は興味をもってほしいということです。感動すると必ず興味をもちます。三つ目は考えるということです。興味をもつと自ずと考えるようになります。学生諸君が卒業して社会に出たとき、「有明高専の卒業生はdeep thinkerだ」と言われるのが私の夢です。みなさんのこれからの学習への能動的な取り組みを期待しています。ぜひ国際的に通用するプロの技術者としてのライセンスをもらいましょう。



よく見て、よく考えて

学生主事 塚本 邦重

Q1: 学生主事室はどんな仕事をしていますのか？

A1: 学生主事室は、学生生活全般に関することを担当しています。つまり生活指導（福利・厚生）、クラブ活動指導に関すること、および、学生会との連携で行う学校行事等を行っています。生活指導については、学生準則、学生心得、学生懲戒内規等に関する事項の指導を、また福利厚生については、奨学金、授業料免除、学生傷害保険等に関する審議や決定を行い、クラブ活動指導については、活動計画、安全配慮事項、クラブ予算、リーダー研修等に関する事柄を行っています。また、学生会との連携については、新入生歓迎、球技大会、体育祭、高専祭等の学校行事の企画運営を行っています。

Q2: 新主事として取り組みたいことはどんなことですか？

A2: わが有明高専は昭和38年開校以来40年の歴史をつくってきました。この息吹を絶えさせることなく、明日へと引き継いでいきたいと思っています。活き続けるためには、時には厳しく、時には優しく、時には楽しく心をかけていきたいと思っています。ただ、今年度から本校は独立行政法人国立高等専門学校機構として出発しました。まだ軌道に乗った状態ではなく、細かなところで検討する事柄がたくさんある状況です。そのため、受け継がれてきた伝統等で、今までの流れを変えざるを得ない事柄が起こるかもしれません。そのときには、柔軟に対応していきたいと思っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

Q3: 学生にぜひ言っておきたいことを語ってください。

A3: 今年も阿蘇青年の家で新入生オリエンテーションが行われました。主事講話の中で「状況の判断」をしっかりしようという話をしました。状況というのは刻一刻変化するものであり、その状況が終われば次の状況が待っているわけです。そういった変化する状況を、よく見ようと、また考えようとせず、ただ自分だけの興味や好みだけで、あるいは、損得だけで判断したり行動したりして、簡単に流してしまっていないでしょうか。そういった判断や言動が、最近よく言われる、「最近の若い者は」という言葉に繋がっているのかもしれませんが。本校に入学した人たちは、それなりの能力、それなりの判断力、それなりの解決力等を兼ね備えた人達だと思います。その人達の中には今その状況判断に対する意識改革を迫られている人がいるかもしれません。よく見て、よく考えて、そのときどきの状況の判断をしてください。



大きく育て

寮務主事 中島 洋典

Q1: 寮務主事室はどんな仕事をしていますのか？

A1: 寮務主事室の仕事は大きく分けると二つに分けられます。一つが寮生の生活面の手助けをする厚生指導の部分と、もう一つは寮生個人に寮の規則を守ってもらうための生活指導の部分です。

寮での厚生指導の大きな目的は、衣・食・住環境の充実です。229名という多くの寮生の生活全般の面倒は4名の寮務主事室だけではお世話できません。宿日直に就かれる先生や、寮務係を始めとする事務部など学校全体で動いているのです。寮務主事室はその代表窓口なのです。また寮生会の厚生指導も行っています。寮生の代表窓口である寮生会と規則や行事について話し合いを行った上で、その意向を取り入れた寮運営を行っています。

一方の生活指導は主に個人単位に行います。岱明寮には寮や寮生の生活をうまく機能させるための多くの規則があります。寮生全体がこの規則を守っていかなければ集団生活は維持できません。規則を守らない寮生については、寮務主事室として厳しく指導をしていきます。

Q2: 新主事として取り組みたいことはどんなことですか？

A2: 本年度より国立の大学・高専の組織改革により岱明寮を取り巻く環境が大きく変化しました。そのため今まで行われてきた多くの行事の見直しや整理をしなくてはなりません。4月の指導者研修でこのことは了解されましたが、今までの伝統を尊重しつつ、今後は新しい行事の種類や内容や日程を寮生会と一緒に企画し、創り上げていこうと思います。たくさん寮生のアイデアや実行力に期待しています。

変化させるだけでなく新しいものも生み出したいと考えています。新寮務主事に決まった直後には「寮生が一斉に勉強できる学習室の確保」や「多目的な共用レクリエーション空間の確保」等の施設面に関する構想が頭に浮かびました。しかし、これらの構想は種々の制約からすぐの実現は難しいと感じています。これらを中・長期的な目標にして、短期的には居室環境の充実ということを考えています。このことに関して寮生諸君の要望を聞いた上で、早めに行いたいと思います。

Q3: 寮生にぜひ言っておきたいことを語ってください。

A3: 現在、みなさんが岱明寮でなぜ生活しているのか、その理由をよく考えて下さい。有明高専で勉強するため、通学の便が悪い自宅を離れる必要があったからだと思います。つまり、岱明寮は技術者を目指して勉強しようという学生が生活する空間なのです。しかし、その空間は限られたものですし、施設のにも十分な快適性を保証するものではないかも知れません。自由がきく自宅に比べれば、時間的制約や多くの規則に窮屈な思いをするでしょう。しかし、その不自由な環境が岱明寮という組織を成り立たせ、寮生の成長を良い方向へと導いてくれるのです。多少の不自由さを我慢する忍耐力をもち、他人を受け入れる寛容の心を育てて下さい。寮生として前向きに努力を重ねた結果は、きっとみなさんを人間として大きく育てる力になるはずです。

特に4年生・5年生の上級生に言っておきます。みなさんは学校や寮の生活に慣れて、寮内の中では特権的な立場になり、快適な生活を送っていると思います。しかしその立場には、下級生の模範となる指導的立場という責任が付随していることを忘れないで下さい。その責任が理解できない、実行できない上級生には主事室として厳しい態度で臨まなければならないと考えています。

新任教職員紹介

本年度、新たに教員2名、事務職員5名の方が赴任されました。そこで次の4つのことをお聞きしました。

Q1:本校に来る前は？ **Q2:**本校あるいは本校学生の印象について **Q3:**趣味は？ **Q4:**抱負を一言

教員：C科 教授

上甲 勲



Answer 1

栗田工業（株）の研究開発部門で環境浄化関連技術の開発研究に取り組み、多くの企業や大学等を訪問するために日本全国を飛び回っていた。

Answer 2

緑に囲まれた広々とした自然環境の中にある学校。南国風。ゆったりとした雰囲気。学生のあいさつが気持ちよい。

Answer 3

若い頃：体を動かすこと。野球とかバスケットボール。おいしいお酒を飲むこと。
本校に来る前：①毎週日曜日NHK のど自慢を聴き、年に一度のチャンピオン大会を楽しむこと。
②読書、とくに池波正太郎（剣客商売他）
永年：変わらない趣味：研究すること。

Answer 4

永年の趣味である研究を本校の学生さんと共に取り組み、楽しみたい。もちろん成果を出したい。例えば有明海の水質環境改善など。今後に期待する最終的成果は本校の学生さんの三拍子（技・能・体）そろった成長。それに繋がる指導ができたら最高！夢を大きく持って取り組みたい。

教員：M科 助手

岩本 達也



Answer 1

熊本大学大学院の学生です。その前は、八代高専の学生でした。

Answer 2

私は高専出身ですが、編入してから大学の雰囲気慣れてしまっており、初めて有明高専を訪れたときは、ひさびさに高専に帰ってきたという感じで、懐かしい印象を受けました。学生の印象は、あいさつがすばらしいですね。特に、朝から元気な声であいさつされると、今日も一日頑張ろうという気持ちになりますし、いい一日を過ごせる気がします。

Answer 3

ドライブです。熊本に住んでいたころは、よく車かバイクで阿蘇や天草へ出かけていました。

Answer 4

就職したばかりの今の気持ちを忘れないようにして、これからの有明高専での生活を、一日一日、大切に、また楽しく過ごせるよう努力したいと思います。

事務職員：庶務課人事係長

井上 俊幸



Answer 1

昭和59年に国立諫早少年自然の家に採用になり、平成2年に九州大学へ転任しました。

Answer 2

今までは仕事等で関係することがありませんでしたので、高等専門学校の詳細についてはあま

り知識がありませんでしたが、赴任前にHPを見させていただいて身近に感じることができました。赴任して一番感じることは、大学に比べて「若く」活気があるということです。

Answer 3

趣味は、ドライブと車いじりです。（ただし、空冷VWに限りますが…。）

Answer 4

早く学校に慣れて、高専の「学習・教育目標」達成の力になれるよう頑張りたいと思います。なお、法人化を迎え、個人的にもあらゆることが足踏み状態で関係の方々にはご迷惑をおかけしますが、一つ一つの職務に誠意をもってあたっていきたいと思っていますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

事務職員：学生課長

池田 淳之助



Answer 1

熊本大学で、主に、用度係、経理係など会計の仕事が多かったです。昨年は、医学・薬学等事務部企画課で、医学部附属病院の予算要求、予算配当、予算管理に従事していました。

Answer 2

静かな良い環境にあり、施設もよく整備されていると思います。学生は、よくあいさつしてくれます。

Answer 3

熊大時代は、ラグビーやサッカーの同好会チームに入って、汗を流していました。太陽の下で身体を動かし、汗を流すのは気持ちの良いものです。最近は、体重も増え、走れなくなりましたので、ゴルフに種目を変えております。

Answer 4

高専勤務は初めてですが、今までの経験を生かしつつ、コミュニケーションをとって、楽しく仕事をしたいと思っています。

事務職員：会計課長

池田 憲治



Answer 1

前任地は熊本市で、九州財務局に勤務していました。簡単に財務局の業務を紹介すると、金融・証券会社の検査、監督や国有財産の管理、処分、経済調査業務などを行っています。場所は、熊本城内の合同庁舎にあり緑豊かなところです。

Answer 2

4月の桜がすばらしかったこと、また、5月に入り緑が豊かであることが印象に残っています。

Answer 3

趣味といえば、2月から5月にかけて海の幸を求めて有明海に出かけることと、9月から11月にかけて山の幸を求めてあちこちの林道を走り回ることです。また、この合間にバイクでツーリングを楽しんでいます（冬は冬眠状態となります）。

Answer 4

高専での勤務は初めてです。一からの出発だと思っていますので、よろしくお願いいたします。

事務職員：会計課用度係長

喜田 貞信



Answer 1

昭和44年4月に九州芸術工科大学（現在の九州大学芸術工学部）に採用され、昭和54年4月に久留米工業高等専門学校に転任いたしました。

Answer 2

静かな環境のもとにあり、学生たちもよくあいさつしてくれます。

Answer 3

趣味といったものは特にはないのですが、以前から友人らの家族とキャンプし前夜の酒盛り、翌朝早くからの山登り、その後温泉に入っていることを楽しんでおります。

Answer 4

今までの大学や高専での経験を生かし、精一杯頑張りたいと思っています。

事務職員：会計課施設係長

若林 俊幸



Answer 1

長崎大学施設部設備課電気係

Answer 2

自然に恵まれた環境の中で勤勉を得られるということは、素晴らしいと思います。学生みなさんも、良くあいさつをするし、活気に満ちていますね。ただ、中庭でのボール遊びはやめましょう。危ないし、物等を壊す恐れがあります。

Answer 3

フィッシングです。主にチヌやメジナ。渓流にも行きます。

Answer 4

学校（教職員・学生）の、ためになる施設係でありたい。

退職教員より

平成16年3月をもって、退職された3名の教員の方に、次の3つについて述べていただきました。

Q1: 高専でもっとも思い出に残ることは？

Q2: 高専あるいは学生に望まれること？

Q3: 今後のことについて一言



E科 近藤誠四郎

A1: 昭和41年に着任した当時は、電気工学科棟はまだ一部しか完成しておらず、電気科は物質工学（当時は工業化学）科棟の2階に間借りしていました。その隅で電子工学実験の準備をはじめましたが、なかなか理論通りに結果が出ず苦労したこと。装置の準備ができた後、来る日も来る日もヤスリ板と鉄筆でガリ版刷りの実験説明書づくりをしたことです。ワープロのように一度つくれば、記憶して何度も使用できるものではなく、毎回はじめから作り直しでした。

A2: 学ぶことを知識の蓄積だけに終わらせないでください。古い書物に「学は智、仁、勇の三字を自得するにあり」とあります。智は正しい判断を下す能力、仁は他に対するいたわりの心、勇は実行力です。しかもこれらを自ら獲得するものだという事です。人間一生の間にやることはたくさんあります。しかし、いつでもできるものもありますが、最適な時期があるものもあります。若い学生のときにしかやれないこと、やるべきことを是非やっておいてください。

A3: 天気が良かったら、趣味の釣りをして過ごしたい、目標としている魚種、サイズを手にしたいと思っています。その他退職したらやりたいと思っていたことは、読書、旅行、書道、絵画、キーボード演奏等山のようにあります。どれだけでできるかわかりませんが、いろいろ挑戦してみたいと思っています。



C科 吉武 紀道

A1: 多くの時間を割いたことが思い出に残る。有明高専で18年間担任を受けもった。そのときどきの学生達との交友。トータル134人の学生と行った卒業研究。卒研生がささやかながら新発見、新発明したとき。30余年間顧問した吹奏楽部のこと。29回続いた三または四高専合同演奏会における他高専との関わり。35回続いている定期演奏会。希望の曲を演奏してくれたときは本当に嬉しかった。またかなり長期にわたり関わった総合実習センターのこと。等々思い出は尽きない。

A2: 平凡であるが“勉強すること”。これをいうと嫌う学生もいるが、私にとって学生時代に困難だったとき、“勉強しなさい”の一言は、最も励みになったと思う。英会話下手で勉強しないのが日本人ではない筈だ。“勉強すること（そして楽しく生きること）”これを学生各位に望みたい。

A3: 英会話やドイツ語会話、放送大学の講義等を学びたい。まだ日本にはないような専門分野のユニークな教科書や専門書の翻訳などもやってみたいことのうち。



C科 正留 隆

A1: 1年生から5年生までの学生が団結してひとつのことを達成した体育祭および高専祭がもっとも思い出に残っています。

A2: 現在、東京都心の私立大学に勤務していますが、120人程度以上の学生に対してマイクを使って授業をしています。高専では40人の学生に対して授業をしていましたので、学生に授業を理解させるために3倍大変な思いをしています。このことは、大学より高専の方がはるかに良い教育環境であることを意味しています。したがって、学生の皆さんには、このような恵まれた教育環境を生かして、いっそう勉学に励まれることを望みます。

A3: 有明高専の優秀な学生さんに負けない優秀な学生を社会に送り出すために、教育と研究に全力を尽くします。

新入留学生紹介

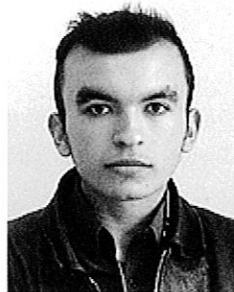


3M ラフィックさん
(SHEH RAFIQUE BIN MUATAPA)
シェ ラフィック ビン ムアタパ

私はマレーシアの首都、クアラルンプールから来ました。マレーシアは東南アジアの中心に位置します。マレーシアは、マレー半島とボルネオの一部サバとサラワクから成り立っています。

マレーシアの人口は2000万人、つまり日本の16%です。国教はイスラム教です。しかし、ほかの宗教もあります。例えば仏教とキリスト教とインド教です。マレーシアの言語はマレー語だけではなく、中国語やインド語と英語も使われています。マレーシアで有名なものはクアラルンプールにあるTWIN TOWERです。これは世界一高いビルです。

私は今から3年間有明高専で勉強して、技術の勉強だけでなく、日本の習慣も学びたいと思っています。これから、一生懸命がんばって、自分の夢を叶えさせたいと思います。よろしくお願いします。



3C エルナンさん
(RINCON GALEANO HERNAN AUGUSTO)
リンコン ガレアノ エルナンアウグスト

私はコロンビアの首都ボゴタというところから来ました。コロンビアは南アメリカ大陸の北にあり、二つの海、大西洋と太平洋に接しています。スペイン語を公用語とし、コーヒーが主産物で外国にたくさん輸出しています。

4月から有明高専の物質工学科で勉強することになりました。高専にはいろいろなクラブがありますが、私は武道に興味をもっていて、時間があるときは剣道部に練習に行っています。

これから勉強を頑張っていこうと思っています。よろしくをお願いします。

留学生歓迎会

4月に新入留学生として、マレーシアからラフィック君（機械工学科3年）、コロンビアからエルナン君（物質工学科3年）が本校に入学しました。二人の歓迎と、関係教職員や学生との親睦をかねて、5月24日（月）の放課後、本校修己館において「新入留学生歓迎会」が催されました。新入留学生のスピーチに続き、吹奏楽部の演奏、学生会の金子君による近郊の名所案内など、参加者一同楽しいひとときを過ごすことができました。



編入学生紹介



4M 北村 和晃
佐世保工業



4M 霧本 貴範
天草工業



4M 森 龍二
佐世保工業



4E 赤池 和哉
球磨工業



4E 田崎 一哉
長崎工業



4E 山下 純矢
鹿町工業



4I 海川 良慶
鹿町工業



4I 岡田 義彦
天草工業



4C 楯岡 秀一
玉名工業



4C 吉永 拓央
玉名工業



4A 添田 まり
福岡工業



4A 高柴 智史
鳥栖工業



4A 中村憲太郎
博多工業



4A 納身 明寿
佐世保工業



4A 山本 拓哉
小川工業

研修旅行記

2004年5月18日(火)～21日(金)

機械工学科

三菱重工業(株) 名古屋航空宇宙システム製作所／日産自動車(株) 横浜工場
ソニーEMCS 湖西工場

電気工学科

NHK放送センター／日本航空(株) 羽田整備工場／(株)東芝 京浜事業所

電子情報工学科

東芝科学館／(株)テルム／NTT(株) サイバーコミュニケーション研究所
NTTドコモR&Dセンタ／富士通(株) 川崎工場／(株)富士通研究所

物質工学科

富士写真フイルム(株) 足柄工場／(株)ヤクルト本社 藤沢工場／東レ基礎研究所

建築学科

海遊館／大阪府立近つ飛鳥博物館／東大寺／法隆寺／薬師寺／兵庫県立美術館
阪神淡路大震災記念人と防災未来センター

機械工学科

4M 西田 久晃

私たち機械工学科は愛知・静岡・神奈川にある企業を見学しました。初日は航空機の製造をしている三菱重工に行きました。工場内は温度・湿度に細心の注意を払い、特に印象的だったのがビニールハウス内で作業が行われていることでした。2日目はオーディオなどで有名なソニーEMCSの見学でした。品質向上と生産性向上を目標とし、工場内は人間の静電気が半導体に影響を与えないようにスリッパや出入口のマットに工夫が施されていました。4日目の研修は日産自動車でした。無人運搬車を多く取り入れ、作業者の負担を減らすと共に少人数での作業を実現していました。3社ともリサイクルやボランティアといった地域社会との共存に力を入れつつ技術を向上させていくという姿が見られました。現在会社から求められる人材は学校で学んだ技術が身についているか、個性をいかに発揮できるかが重要だそうです。残りわずかな学生生活の中でそれを身につけていこうと思います。



電気工学科

4E 肥後 智也

僕たち電気工学科は関東の方に3か所見学に行きました。この研修旅行で初めて東京に行く人も多かったです。初日はJALとお台場に行きました。JALでは普通では見ることでできない飛行機の裏の裏まで見ました。お台場にはたくさん人がいました。2日目は東芝とNHKに行きました。東芝はE科にある発電機より定格や大きさが100倍以上あるものなどを作っていました。NHKには有明高専の卒業生の西村さんがいました。実際にカメラを操作させてもらったり、気軽に質問できたので楽しかったです。3日目は自由に行動し、都会を満喫しました。いろんな所で衝撃を受けました。最終日は科学未来館に寄ってから帰って来ました。今回の旅行はとても価値のあるものでした。4年生になったこともあり、みんな就職について真剣に考えるようになりました。見学させていただいたJALさん、東芝さん、NHKさん、ありがとうございました。



電子情報工学科

4I 越智 亜祐美

私たち電子情報工学科の見学先は、1日目に東芝科学館と株式会社テルム、2日目に株式会社NTTドコモR&DセンタとNTT株式会社サイバーコミュニケーション研究所、3日目は自主研修、4日目に富士通株式会社川崎工場と株式会社富士通研究所でした。

これら訪問先の中で私が一番印象に残ったのは、株式会社NTTドコモR&Dセンタでした。CMでみるような高度な通信技術を用いたものを実際に操作したり、最新型のFOMAでテレビ電話をしてみたりと、未来を体験している感じがしました。また、遠くの人がそばにいるかのように振舞う分身インタフェース通信、触覚さえも伝わる五感通信など、将来に向けた未来通信が開発されていることを知りました。

この研修は、最新の技術が私たちの生活をより良いものとしてくれるだろうと感じさせてくれる充実したものでした。



物質工学科

4C 鳥巢 友希

私たち物質工学科は関東方面への研修でした。初日の富士フィルムでは、従来の「使い捨て」という考えを一掃し、リユース・リサイクルを基調とする循環生産システムを確立した柔軟な発想に感心するばかりでした。2日目のヤクルトでは、現在注目されているプロバイオティクスを先駆けて提唱、実践したという事実に驚きました。次の東レ基礎研究所では、医薬品関連の新製品の開発を目的とした医薬研究所内を見学し、私たちの普段の勉強が基礎となっていることを改めて実感しました。また、3社ともISOを取得されていて、工業社会における国際化を感じました。3日目の自主研修ではそれぞれ東京を満喫し、最終日のお台場でも短時間でしたが周辺の見学を楽しむことができました。今回の研修で私達は実社会を目の当たりにし、もうすぐその社会の一員となるのだと自覚した気がします。この研修で得たものをこれからの高専生活に活かし、有意義に過ごしたいと思います。



建築学科

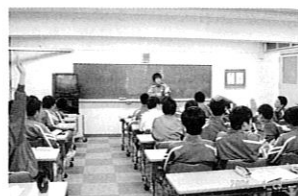
4A 西郷 陽一

僕たち4年建築学科は、研修旅行で関西に行きました。古い寺や有名な建築家の作品を見てまわりました。ほとんどの建物は行く前に写真等で見ていたのですが、やはり本物はすごい！特に東大寺には圧倒され、感動しました。「百聞は一見にしかず」は間違いのないと思いました。京都・奈良は中学校の修学旅行のときに行って、一度見たことのあるものもありましたが、少しその建物について知識があり、興味をもっているだけで感動は何倍にもなり、その建物のすごさが何十倍もわかりました。古い建築物は、何百年もの歴史を経て、今も堂々とした態度で僕たちを見下ろし、感動を与えています。

新しい建築物は、新しい考え方を提案し、僕たちに新たな可能性を教えてください。そうしたことを感じた有意義な研修旅行でした。



新入生阿蘇オリエンテーション



新入生阿蘇オリエンテーションに参加して

1 E 野田 裕太

有明高専に入学して、もう3週間が経ちました。初めはすごく緊張していて、周りの人ともなかなか話せませんでした。でも、阿蘇オリエンテーションに行ったことで、少しは皆と仲良くなれたかなと思うし、すごくいい経験になったと思いました。団長も先生も、僕たちの面倒を見てくれてありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

初日、期待と不安を胸に出発しました。一生懸命校歌を覚えました。練習はすごく大変だったけれど、団長も僕等のために言ってくれてるので、必死に覚えめました。夜の校歌の練習のときは、息がつまりそうでした。ドキドキの連続でした。今までで一番声を出した日でした。伝統の校歌を覚えて一生懸命歌うのは、当たり前のことなので、頑張りました。この日は、「校歌の日」でした。

2日目。オリエンテーリングは、意外に楽しかったです。班行動で、自分勝手なことはできないので、集団行動の大切さと、団結感が少しでできました。自然の広大さというものを実感しました。景色が最高で、いつもは見ることができない貴重な体験でした。ホームルームはすごく楽しい時間でした。ハプニングだらけで、聞くだけでおもしろかったです。かわいい男子No.1が倉重君に決まったので本当にうれしかったです。この日は、「倉重君の日」でした。

最後は、高専での生活についての話を聞きました。これから1年、すごく大事な時期だと思うので、勉強も3番以内を目指したいです。

阿蘇研修、おつかれさまでした。団長も先生もすごく良かったです。みんなおもしろかったよ。



阿蘇研修を終えて

1 I 只隈 真悟

僕がこの阿蘇研修で頑張ろうと思っていたことは、友達をたくさん作ること、しっかりとした礼儀を身に付けること、そして、決められたことをしっかりと果たすことでした。

まず、友達をたくさん作るということに関しては、達成できました。今までまったく話したことのなかった人とも話せて、よく話していた人とは、さらに仲が深まりました。特に同じ班の人とは、オリエンテーリングで一緒に活動し、きつい思いやうれしい思いを分かち合ったので、関係がとても深まりました。

礼儀を身に付けることに関しては、若干達成できませんでした。なぜなら、あいさつをしたのは良かったけど、回りの状況を考えないで大きな声を出したり、あいさつの言い方がでたらめになっていたからです。

決められたことをしっかりと果たすことに関しては、良い面と悪い面がどちらもありました。良い面は、時間にはちゃんと間に合うように行動できたことです。悪い面は、靴を並べること等のちょっとしたことを怠ってしまったことです。

この阿蘇研修で一番の刺激になったのはやっぱり団長との校歌の練習です。本当にきびしくて、恐々としていたけど、1年生みんなが一生懸命になって、全員で一つのことをやろうと頑張ったので、みんなが一つになれた気がします。

2日目のホームルームのスピーチでは、クラスのみんなのことが詳しく分かり、これから5年間楽しくやっていけそうな気がしました。自分のスピーチのときはすごく緊張していたけど、無事スピーチを終え、自分のことをみんなに知ってもらえたので良かったです。

この阿蘇研修ではいろいろなことを学べて、かけがえのないものになりました。ここで学んだことをこれからの高専生活に生かして、楽しくみんなと過ごしていきたいです。



専攻科のページ

平成16年度専攻科入学式

専攻科入学式が管理棟大会議室で開かれ、専攻科第4期生として、また、高专が法人化された第1回目の専攻科生として、28名の新入生を迎えました。校長式辞で「法人化され、より一層地域の産業振興への活躍が求められ、その期待に



専攻科入学式



応えるべく地域連携に積極的に取り組んでいます。また、今年はJABEE認定を申請しますが、その鍵を握っているのは君たち学生諸君であり、この2年間で、誇りと責任感を持って、有意義に過ごしてほしい」と激励され、入学生総代の舩岡壮樹君(建築)が誓詞で「国際社会に通用する技術の修得に努めます」と力強く誓って式を終えました。

平成16年度専攻科新入生一泊研修

専攻科1年生に対する導入教育および学生・教職員の交流・親睦を深める目的で、4月22日(木)より23日(金)にかけて、リフレッシュおむたで専攻科新入生一泊研修が行われました。

22日午後、スクールバスで学校を出発し、リフレッシュおむた到着後、早速、研修に入り、新谷専攻科長から「専攻科での学生生活の意義」についての話がありました。その後、新入生全員による自己紹介とこの2年間の抱負がなごやかな雰囲気の中で語られ、参加した教職員からも自己紹介と新入生への期待が述べられました。続いて、校長講話として校長よりこれからの新しい学問である「安全学」についてのお話をお聞きして研修を終えました。

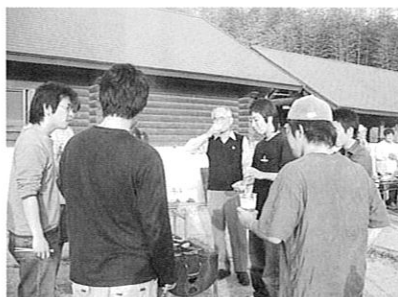
研修の後、班毎に分かれて夕食準備が行われ、好天に恵まれて屋外でのバーベキューパーティーが、校長先生も参加され、楽しくにぎやかに開かれました。夕食後も遅くまで学生たちの語ら



いが続き親睦を深めました。

23日は、午前中、ビデオ「英語が会社にやってきた」(NHK特集)の鑑賞の後、リクレーションとして体育館でのバレーボールの班対抗試合を楽しみました。その後、昼前に宿舎を出発して、道の駅おむたのレストラン花ぶらすで昼食後、大牟田エコタウンを訪れ、エコサンクセンター、リサイクルプラザ、RDF(ゴミ固形燃料)センターを見学しました。

今回、RDF発電所は点検期間中のため見学できなかったのが残念でしたが、午後4時、全員無事にスクールバスで帰校し、有意義な一泊研修を終えました。



新入生歓迎行事

4月16日(金)、新入生歓迎行事が行われました。各学科に分かれ、約2時間程度、1年生と編入生の自己紹介や先生方の紹介などがあり、各学科独自の雰囲気の中、交流を深めることができました。

1年生はこれから始まる長い高専生活において最初の行事だったので、緊張したことでしょう。

しかし、今後、年齢の離れた先輩達と関わりが多くなると思うので、このような行事を大切にしていって欲しいです。そして、学年を問わず、交流の多い学科ができていくとよいと思います。

(学生会長 5M 鶴田 弘之)



キャンパスクリーン作業

5月11日(火)、キャンパスクリーン作業が全校一斉に行われました。前回同様、7時限目まで短縮授業を行い、それから約1時間半をかけて本科生・専攻科生および全教職員が清掃活動に従事しました。前日は雨で天気を心配しましたが、当日は午後になると気温も上がり、熱中症を心配する程の天気になりました。作業は参加者全員の協力により、無事終了し、校内が一段ときれいになりました。この除草作業について、地域の方から感謝の言葉をい

ただきました。次回は、9月2日に予定されていますが、その際にも、校内をよりきれいにできるように参加者全員の力を合わせて頑張りましょう。



春季球技大会

5月28日(金)に、春季球技大会が行われました。天気も晴天に恵まれて、絶好の球技大会日和でした。練習の成果を十分に発揮し、白熱した試合が行われていました。

次の冬季球技大会でも、是非、また頑張ってもらいたいと思います。(体育局長 5M 三浦 俊亮)

最優秀クラス 優秀クラス		5 I 専攻科	
種 目	優勝	準優勝	M V P
ソフトボール	3 A	4 A	大坪 史人(3A)
バレーボール	専攻科	5 A	池田 和寛(専)
女子バレー	4 C (Aチーム)	4 C (Bチーム)	濱田 綾(4C)
ソフトテニス	5 I	3 C	中川 裕史(5I)
卓 球	1 M	1 E	小倉 将人(1M)



岱明寮だより

寮生指導者研修会in 大牟田ハイツ

4月5日(月)・6日(火)、寮生指導者研修が行われました。参加者は、今年度の寮生会役員22名・寮務主事室スタッフ4名・寄宿舍運営員・寮務係・寮母さんの総勢33名で、大牟田ハイツに一泊し、寮生遵守事項の確認・寮生会主事室双方からの要望、重点目標など、今年度の寮の運営方針について、研修を行いました。



充実した研修を終えて全員で記念写真

入寮式

4月8日(木)12:00より、視聴覚室で、入寮式・入寮オリエンテーションが行われました。1年生59名、3年の外国人留学生2名、4年編入生12名の計73名が、岱明寮に新たに入寮しました。校長先生・寮務主事のお話、寮務主事補から寮生活について概略の説明、鐘ヶ江寮長や指導寮生のあいさつがありました。



寮務主事からの新入寮生へのあいさつ

今年度重点目標

整理整頓

清潔で美しく健やかな毎日を過ごす寮へ

寮長の鐘ヶ江君より、今年度の岱明寮の重点目標が寮生総会にて発表されました。

寮内美化作業

5月29日(土)9:00から12:00過ぎまで少し小雨の降る中、岱明寮内の美化作業が行われました。40名を超える保護者の方々に参加していただき、寮務主事室・寮務係・寮母さん・有志の寮生とともに(総勢100名程度)草取りを行いました。お陰で見違えるほど寮がきれいになりました。



参加いただいた保護者の方々



寮生も大活躍!!

新入寮生歓迎夕食会

4月12日(月)、岱明寮において、新入寮生歓迎夕食会が行われました。新入寮生73名が在寮生の拍手の中、入場着席し、校長先生からのあいさつ、中島寮務主事による出席教職員の紹介の後、副寮長による「いただきます!」で会食が始まりました。その後、恒例の新入寮生一人一人による自己紹介が行われました。



↑新入寮生の入場指導寮生が1年生をエスコート



1年生が元気にあいさつ



卒業式・修了式

3月18日(木) 本校第1体育館

校庭のしだれ桜のつぼみもほころび始めた3月18日(木)、第37回卒業式および第2回専攻科修了式が本校第1体育館で举行され、卒業生165名と修了生18名にそれぞれ準学士および学士の学位記が授与された。スーツや和服に身を包んだ卒業生・修了生は式終了後、皆晴れがましい笑顔で家族や友人との記念写真におさまっていた。

午後からは、家族とともに各学科にわかれて、学科の会が催され、学生からは心のこもった感謝のスピーチなどがあって、笑いあり涙ありのheart-warming ceremonyとなった。学生も保護者もそして教職員も有明高専に来てよかったと心から感じられる1日となったに違いない。



成績優秀者

M 田 嶋 大 輔
E 徳 永 聖
I レーフントウイ
C 伊 藤 幸
A 廣 畑 好 章

日本機械学会 畠山 賞
電気学会九州支部長賞
電子情報通信学会九州支部長賞
日本化学会九州支部長賞
日本建築学会九州支部長賞

学 会 表 彰

田嶋 大輔
猪口 雄大
中山 順博
平 有加利
廣畑 好章

コンクリート工学協会九州支部長賞 西田 朋美(専)
楠田 飛鳥
日本建築協会会長賞 高柳 七子
日本都市計画学会九州支部長賞 廣畑 好章

入学式

4月8日(木) 本校第1体育館



4月8日(木)、第42回入学式が本校第1体育館で行われた。今年は、208名の1年生が入学、2名の留学生と15名の工業高校卒業生がそれぞれ3学年および4学年に編入学した。校長による入学許可や式辞、来賓の祝辞などを緊張した面持ちで聞いていた新入生も、式後、新担任に先導されて退場するときには、希望と決意に満ちた表情に変わっているように思えた。その後ホームルームがあり、無事初日が終了した。家族と楽しく語らいながら校門を出る新入生の門出を祝うかのように、散り急ぐ桜の花びらが新調の制服の肩に舞っていた。

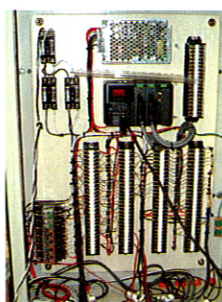
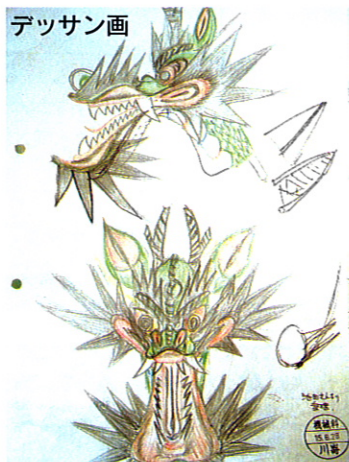


トピックス

ロボット大蛇山ついに完成！

平成15年初めに「JR大牟田駅に地元のシンボルである大蛇山を型どった、動きのあるロボットを設置しよう」という企画が地域の方々より提案され、その製作を有明高専が担当することになりました。15年4月に本校機械工学科の川崎義則教授をチーフとし、教職員と学生からなる「ロボット大蛇山製作プロジェクト」が組織され、祇園六山振興会のアドバイスを受けながら製作に当たってきましたが、この程完成しました。16年4月28日に大牟田駅に設置され、その除幕式が行われました。

このロボットの骨組みはアルミ製で目やヒゲの先が光り、旋回と起伏を組み合わせた3パターンの動きが登録されており、センサーが人の動きを感知すると自動で頭が揺れるようになっています。



白大蛇

大蛇を動かす配線

編集後記

花を愛でる感覚は人の特権である。一面に咲き誇るさまに息を呑むこともあれば、路傍にひっそりと咲く姿に思わず足をとめることもある。花は様々な場面で人生を演出する。傷心を癒してくれることもある、喜びや感謝を彩ってくれる。

本校キャンパス内にも種々の花々があり、季節の移ろいを忠実に写している。今号から、それらの花を表紙で紹介することにした。1回目は電気棟の南庭にある藤の花である。本校では、最も古株のひとつで、4月下旬になると開花し、2週間ほどで散ってしまう。薄紫の花房がキャンパスを巡る薫風に揺れる様子は可憐で柔かい。優しい春の光を浴びながら、花に心を奪われる一時も悪くない。

……藤房の風とたわむれゆらゆらり……

有明高専だより 第113号

平成16年6月17日発行

編集：有明高専広報委員会

発行：有明工業高等専門学校

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-8861 (学生課)

<http://www.ariake-nct.ac.jp/>